



小田原城北 ロータリークラブ

DISTRICT No.2780 KANAGAWA JAPAN

例会場及事務所

毎週 火曜 12時30分
〒250-0211
小田原市鬼柳172-9
小田原卸センター内会議室
TEL 0465-37-1222
FAX 0465-37-7377
http://www.odawarajhrc.jp
E-MAIL :info@odawarajhrc.jp



会 長 中村 維孝 幹 事 竹村堅一郎
副 会 長 露木 清勝 副 幹 事 金山 慶昭
クラブ会報委員会 大川 誠委員

BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS 地域を育み、大陸をつなぐ

第1693回

点 鐘 中村 維孝会長
司 会 金山 慶昭副幹事
斉 唱 「君が代」「奉仕の理想」「四つのテスト」

| 出席報告 | 会員数 | 出席 | M.U | 出席率 |
|-------|--------|----|-----|--------|
| 3月1日 | 52(48) | 38 | 2 | 83.33% |
| 2月22日 | 52(48) | 40 | 1 | 85.42% |
| 2月15日 | 53(48) | 35 | 1 | 75.00% |

【出席報告】菊地 義雄委員

【欠席者】 10名

内山 修一・村瀬 雅實・三宅 常公・久保田 知子
所 真人・小川 和夫・木村 啓滋・須藤 公司
佐須 智明・渡部 重海

【今回メーキャップ】

久保田 知子(アクト)・小川 和夫(アクト)

【慶事祝福】

【結婚記念日】

内山 修一さん(3月1日)・金山 慶昭(3月1日)
佐須 智明さん(3月5日)

【奥様・ご主人誕生日】

田代 俊江様(3月6日)・小林 真砂美様(3月7日)

会長挨拶

中村 維孝会長

先々週韓国からキムチョンユン家族が来日し、久しぶりに例会に参加されました。その夜歓迎会を催し、大変有意義な歓迎会が出来たと思っております。ありがとうございました。

たまたま昨日5年前にフランスから来日しておりました、クリステルブッチから「4月10日の35周年に合わせて小田原に行きます。」というメールをもらいました。しかし、おまけがついておまして、ボーイフレンドも連れて行くのでよろしくという事が書かれておりました。

話は変わりますが、ニュージーランドで大変な自然災害がございました。日本から留学をしていた方々がまだ20

2011年3月1日(曇)第1537号

数名行方不明ということで、大変心が痛むことですが、私達のクラブとしても何か出来ればと考えておりましたが、地区の方でまとめて義援金を贈るという話になっているそうです。そんな話が来ましたら、また皆様にご芳志を頂ければと思っておりますのでよろしくお願いいたします。最後になりますが、先々週のクラブ協議会でクラブ細則の変更についてのお話をさせていただきました。本日がその承認を頂く日です。クラブ協議会に出席出来なかった方のために簡単に変更箇所を説明させていただきます。第4条役員の任務の第2節直前会長というものを新たに加えます。第8条、今まで4大奉仕になっておりましたが新世代奉仕を加え5大奉仕部門に変更になります。そして第6節として新しく長期ビジョン策定委員会というものを次年度から設けるということになりました。第10条の委員会の任務の所にも新世代奉仕が加わります。(以上挙手にて承認されました)

幹事報告

竹村 堅一郎幹事

事務局の霜田さんの後任として諸星ひとみさんが就任されました。この3月いっぱいには霜田さんと一緒に事務関係を勉強していただきます。

委員会報告

ローターアクト支援プロジェクト…柳井 渉リーダー
2月27日の日曜日に横須賀で行われましたローターアクトの地区年次大会に参加してきました久保田委員長の方より大変多くの登録をしていただきましてありがとうございます。という言葉が預かってきました。

米山記念奨学生委員会…中野 明委員長
先週お伝えしました米山奨学金の寄付の受付をしております。来週、再来週まで受付をしますのでよろしくお願いいたします。

国際交流プロジェクト…本多 純二リーダー

国際交流の記念植樹のムクゲの苗木が届いておりますので持ち帰って下さい。

植樹プロジェクト…齋藤 永リーダー

本日ポスティングさせていただきましたが、創立35周年記念の月桂樹の植樹のご案内をいたしました。今月22日の火曜日、例会終了後の13時40分より行いますのでよろしくお願いいたします。

ニコニコ箱

釘持 悟委員長

執行部一同 本日から、新しい事務局員諸星さんに来ていただいています。3月中は、霜田さん共々引継ぎを含めて、二人でお願いしています。よろしくお願いいたしません。

田代 博信さん 家内の誕生日を祝っていただき、ありがとうございます。これからの余生も平凡に過ごしていきたいです。

鈴木 友徳さん 韓国よりチョンユンが家族で来ましたので。

金山 憲昭さん 結婚記念日のお祝い、ありがとうございました。

木村 頼弘さん まず、妻に誕生日のお花をありがとうございました。また、長い間休んでしまいました。

小林 和彦さん 「奥様誕生日」ありがとうございます。過去に花を贈った事がないので、ビックリすると思います。

米山奨学生を囲む会出席者一同 2月22日に米山奨学生を囲む会を行いました。楽しい一時でした。少々ですが残金です。

菊地 義雄さん バッジを忘れましたので…。

卓話



国際交流プロジェクトフォーラム

本多 純二さん

大邱松林RCとの姉妹提携に至った頃のお話をさせていただきます。19年前の1992年(平成4年)になりますが、世の中は大変景気が良いときでした。そのような中で城北もですがロータリーの会員数が増えました。92年の頃は私達クラブも会員数が68名いました。それから5年後の23期の時にはピークで76名まで増えました。そんな中で92年の頃になって、地区のセミナーなどがあるとロータリアンの国際感覚をやしなうためにということで各外国との姉妹提携を推奨していました。私達クラブもどこかないかと模索していました。その頃にちょうど私達クラブの会員の中に韓国の企業と大きく取引をしている会社があったのです。その会員さんも今はすでに退会されてしまっていますが、その人の世話で知り合ったのが今現在お付き合いしている大邱松林RCです。話はほとんどん拍子で進み、9月頃にこちらに訪問したいという話があり、そこで私達も受け入れ

ましようということで10月の後半に合同例会をやるということになりました。それで待ち受けていたところ33名位で来られました。前日に湯本で執行部による会議を行ったところ、大きな問題がおきました。というのも、大邱松林RCは最初から姉妹提携が出来るものだという考えであり、私達は取りあえず交流を深めお互いがわかったらというようにスタンスの違いがありました。そして、取りあえずは友好クラブの調印をしました。その後、その年の終わり頃に私達も大邱に行きました。そして私達の20周年の式典にて姉妹関係を結びませんかと言うと大変喜んでいただき、それと同時にWCS(世界社会奉仕)の提携もしようと話が進みました。それで盛大に20周年の時に調印式が行われ、その時にWCSが私達クラブと大邱松林RCとスリランカのクラブの3者にてWCSの事業が行われました。なぜスリランカかと申しますと、その時に私達の奨学生としてお世話していたのがプリアンカ君だったのです。その後3年ごとに書き換えをし、お互いに行き来し交流が今現在まで続いています。そこで今回の植樹の話になりますが、今から2年前、大邱の方で創立30周年の記念式典があり、向こうに行きました。その時に向こうの国際交流のプロジェクト委員長がお互いに何か事業をしませんかという話が持ち上がり、お互いの国木を交換植樹しましょうということで、お互い理事会に持ち帰って話をしましょうということになりました。1カ月後にはOKになり、次の年度に進めようということで、昨年桜の木が大邱市の公園の一角に植えられました。小田原でもそれに適合するような良い環境の植樹が出来るのかなど不安の中、昨年探し始めました。齋藤さんのご協力により寄木の方にしようとしたが国の土地とかが絡み時間がかかるという事で断念しました。他の場所を探しているときに県立の諏訪の原公園の一角にムクゲの木を植えたら目立つだろうと思い、その公園に阿部さんのお寺が隣接しているので阿部会員の協力のもと県土木に何度も足を運び良い場所を紹介していただきました。四阿建築、苗木を26本植える図面が完成し、認可があり、現在は8割位出来ております。来週は確認がてら行きたいと思っておりますのでぜひ皆さんの参加をお願いしたいと思います。



土岐 博也さん

今日は4月10日の35周年記念式典の記念事業の一つとしてのアラリア奨学金の維持・発展というところで当日発表する内容がどの程度出来ているかという話をしたいと思います。井上会長の時に記念事業のひとつとしてアラリア奨学金をつくりました。それは、16、7年前にうちの米山奨学生であったプリアンカ君がロータリーの精神を生かして、スマトラ沖大地震によってできてしまった孤児の将来のために奨学金をつくってみたいという話がありました。最初にスマトラ沖地震で援助をしてほしいという時にはまだスカラシップの話は出ていませんでしたが、その当時は、12件の家を建った後の残りのお金の尚且つ利益でもってスカラシップが出来るほどの経済事情でした。設立してあとは見守るという形をとり過去5年間をみてきました。世界的に非常に景気が悪くなってきたので基金の利息で維持が出来るかどうかということも我々は心配しておりましたら、新しい情報がきましたので、これをもとに35周年の記念式典で皆様方に発表をし、奨学金を維持・発展しようと思っています。一番新しいデータでは5年前始まった当時は、52、3名の子どもたちに対して奨学資金を出す事が出来ました。ところがだんだん金利が悪くなり今年の1月にはやっと35名である。向こうが言うのは再び約50名への奨学基金を集めたい、出来たらもう少し延ばして維持していきたいということです。35周年記念式典には現状とこれからの展開を皆様と共に考えて行きたいと思っております。

次回3月15日は「チャリティープロジェクト&新世代育成委員会」です。